

株式会社イーストクリエイティブ

<https://www.east.co.jp/>

[CROSS TALK] アルファサード×イーストクリエイティブ PowerCMS Xとのコラボレーションで 複雑化する顧客ニーズにも柔軟に対応

イーストクリエイティブでは、国産の多機能CMS「PowerCMS X」を活用し、多様な顧客ニーズに応え続けています。同社にとってPowerCMS XとはどのようなCMSなのか、また、PowerCMS Xを開発するアルファサードにとっては、イーストクリエイティブがどのようなパートナーなのか、対談を通じて両者の関係に迫っていきましょう。

始まりはWebメディアのリニューアル 無理を承知で泣きついた

アルファサード 野田：最初に出会ったのは、某大手Webメディアのリニューアルがきっかけでしたよね。

イーストクリエイティブ 高木：その案件ではWebサイトのアクセス数が非常に多くて、PowerCMS Xのように静的にページを書き出す仕様が不可欠だと考えていたんです。それでアルファサードさんに連絡して、クライアントと一緒に説明に行っていたら、お願いしたら、野田さんが直々に来てくださって。本当にびっくりしました。

野田：「こんなことはできますか？」って聞かれた時、僕自身がつくっているから即答できるんですよ。それに僕自身ならできる、できないの返事以外にも「やります」という回答ができる(笑)。

高木：あの案件では、いろいろと苦労もありました。野田さんに泣

きついたのを覚えていますか？

野田：外部のニュースを取得して、リアルタイムに近い形で出力したいという要望でしたね。PowerCMS Xは静的にページを書き出すので、動的に表示を更新することはできない。そこで自動処理で書き出しをするのですが、その間隔を1分にしてほしいと。

高木：1分間隔だと、前の自動処理が完了する前に次の処理が来ってしまう。私たちも社内で細かな調整を繰り返したのですが、どうしてもクライアントの要求する速度が満たせなかった。どうしてもなくて、休日にも関わらず野田さんにミーティングの時間をとっていただいたんですよ。

野田：あの時は旅行で島根県にいたんですよ。基本的には休日には対応しませんが、それを承知で連絡が来たということはそれなりの理由があるんだろうな、と。

高木：あの時は本当に助かりました。おかげさまで、ようやく顧客にも納得してもらえる速度が実現できました。

野田 純生さん _Sumio Noda
アルファサード株式会社
代表取締役社長
<https://alfasado.net/>

高木 朝規さん _Tomonori Takagi
株式会社イーストクリエイティブ
企画営業本部 本部長



同じCMSを使っている 制作会社によって差が出る

高木：それ以来、CMSを検討する際にはだいたいPowerCMS Xを候補の1つに乗せています。実務で欲しい機能が標準で揃っているのが、複雑な要望に対してもスマートに応えられます。それに、手厚いサポートをしていただいている点も大きいです。技術面に関する複雑な質問でもすぐに答えていただけるので、弊社の開発スピードも上がります。

野田：弊社としても、PowerCMS Xを集中して使ってくださる制作会社がいるのはありがたいです。イーストクリエイティブさんのようにずっと使っていただくとノウハウが溜まっていく。何か尋ねられたときも、制作会社側の知識量によって僕らの負荷が変わってきます。本当にいろんなお客さんがいますから。「WordPressでやっていた方法がPowerCMS Xではできないの？」なんていう質問が来ると、僕らのモチベーションにも関わってくる。

高木：そういう話、きっとあるでしょうね(笑)。

野田：PowerCMS Xにはいろいろな機能がありますが、制作会社によって活用の仕方に差が出てきます。例えば、PowerCMS Xには「モデル」というデータベース機能がありますよね。機能としてはモデルをいくらでもつくれるのですが、無尽蔵につくってしまうと、や



「同じPowerCMS Xを使っている、制作会社さんの技術とノウハウでWebサイトの出来は変わってきます」



高機能で軽快な国産CMS

PowerCMS X

PowerCMS Xは、導入実績3,000サイトを越える高機能CMS「PowerCMS」のノウハウを活かして一から開発されたCMSです。静的にページを出力する仕様のためアクセス負荷に強く、さらに再構築もスピーディーで軽快に扱えます(従来比でおよそ20倍高速化)。また、強固なセキュリティ関連の機能やアクセシビリティ機能に標準で対応しているのもポイント。企業、自治体、公共団体など、さまざまな事業で導入されています。

「PowerCMS Xは
実務で欲しい機能が
標準で揃っているのが、
顧客の複雑な要望にも
柔軟に応えられます」



はりデータが肥大化して重くなってしまいます。その点、イーストクリエイティブさんはスマートに実装しているのだらうと思います。

高木：モデル機能に関しては、弊社も過去の経験を活かして、余計なものを入れずにシンプルにしようと考えています。

野田：そういうノウハウの蓄積や技術力があるかどうかで、Webサイトのパフォーマンスとか、良し悪しが変わってきますよね。

高木：せっかくの機会なので、将来の話も少しさせてください。現状、PowerCMS Xは顧客からの引き合いがとても強くて、提案すると興味を持っていただけることが多い。ですから、我々としては今後もPowerCMS Xを積極的に使っていきたくと思っています。あと、弊社としては、PowerCMS XでヘッドレスCMS(フロントエンドとバックエンドを切り離したCMS運用)のような使い方をしたいと思っています。まだマッチする案件がなくて挑戦できていないのですが。

野田：今後の話でいうと、協業をお願いしたい案件もいくつか出始めています。企業や自治体から、弊社に直接相談が来るケースもあるのですが、そういう案件では早い段階で協業体制が組めるとありがたいです。あとは、今後もPowerCMS Xを重点的に活用していただけるのであれば、私たちからのノウハウ共有の機会を積極的に設けるのもアリだと思っています。

高木：本当ですか？ありがとうございます。詳細は改めてご相談させていただきます。これからもどうぞよろしくお願いします。